

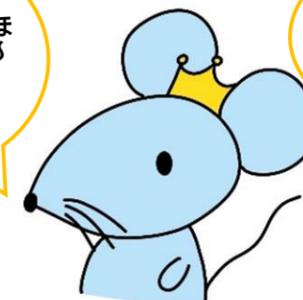
どれどれ、今年のアンケートの結果はどんなかな？

学校生活振り返り アンケート 2022 学園・学校評価

三鷹中央学園では、4年生以上の児童・生徒には「学校生活振り返りアンケート」、保護者には「学園・学校評価アンケート」を行っています。今年度も10月から11月にかけて、昨年と同様にオンラインによる回答をお願いしました。ご回答くださった皆様、ありがとうございました。1月のCS委員会で、アンケートから見える今後の課題についての熟議を行いました。その中から、一部をご紹介します。

〔学校生活振り返りアンケート回収率 84% 学園・学校評価アンケート回収率 58%〕

ほく、チューー王国民が感じていることが、少し見えてきたぞ



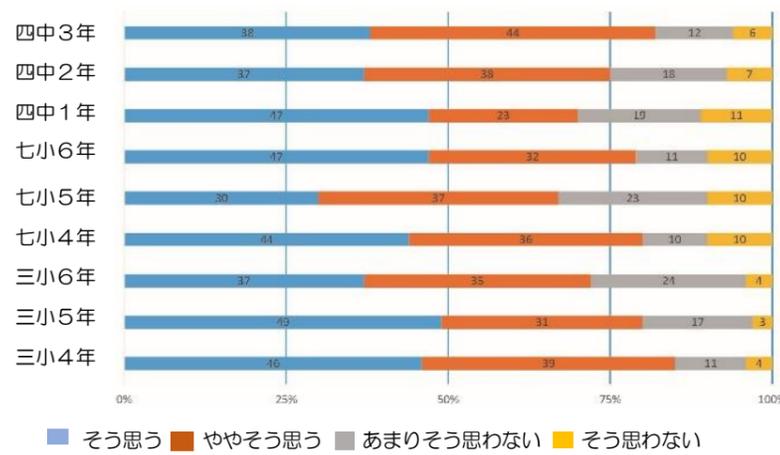
チューー王様、ここはチューー王国ではなくて中央学園です



【テーマ】自分の将来について考えている

- 学年により、肯定回答に差が出ている（自己肯定感、自己有用感が低い）
- 受験や塾、習い事が忙しく、自分の将来について考える時間を持っていないのかもしれない。
- コロナの影響で体験の機会が減った。キャリア教育（プロとの出会い）、講演会など、興味・関心・夢を持たせる体験の場の復活、そして金の大切さを学ばせることも必要だと思う。

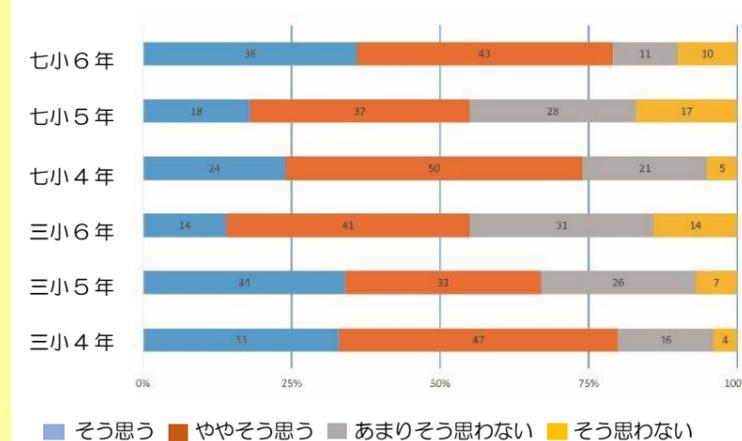
自分の将来について考えている



【テーマ】クラスの一員として自分はだれかの役に立っていると思う

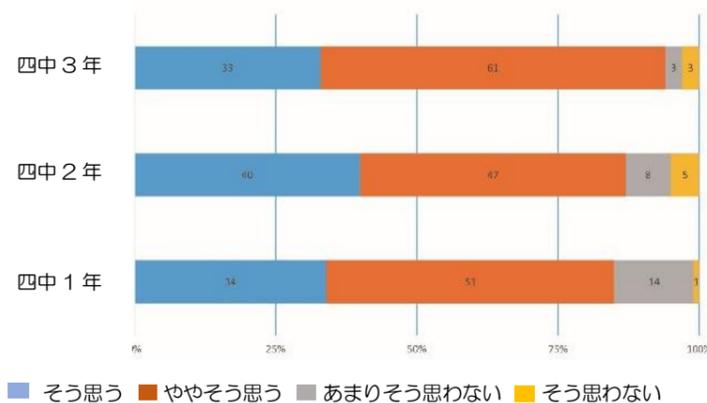
- 学年や学校によって違いが出ている。その理由となるものが何かを考えていきたい。
- 自己肯定感を高められる場を作る。そのためには、学校、保護者（家庭）、地域の連携が大事になってくる。
- 親から褒められたり、認められる機会が増えると、肯定感が高まり、自ずとクラスでもだれかの役に立っていると思える気持ちが育ってくると思うので、まずは家庭で「褒める」「認める」ことが大切。

クラスの一員として、自分はだれかの役に立っていると思う



【テーマ】学校や家庭のルールや決まりをきちんと守っている

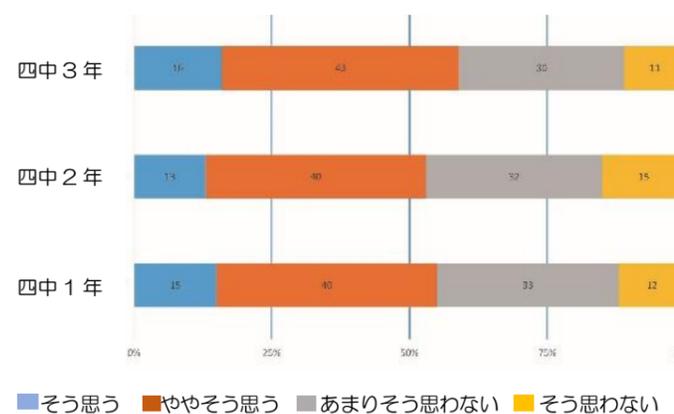
学校や家庭でのルールや決まりをきちんと守っている



- 守れていないと感じる要因の一つに、子どもなりに忙しい中、色々なことに興味がある年頃なので、タブレットの使用時間、ゲームの時間、就寝時間など時間に関するルールが守りにくいというのがあるのではないか。
- 守っているという感じ方に、子どもと大人で差があるのではないか。
- 学校のルールやタブレットのシステムを、保護者が理解しているだろうか。学校と家庭が共通理解を持つ、また親子の話し合いでルールを明確化することが必要。
- 一方的にダメというのは効果がない。みんなで話し合い、子どもたちが納得するルールを作る。

【テーマ】地域防災に積極的に参加する気持ちがある

地域防災に積極的に参加する気持ちがある



- 昨年度は「地域防災の担い手としての自覚がある」という質問がわかりにくいという意見が多数あり文言を変えたが、今回も肯定回答率は低い。「地域防災」を「訓練への参加」という意味にとらえて、（参加したい気持ちがあるが、予定が合わない）（参加できていない）という気持ちの表れなのかもしれない。
- 「積極的に」という言葉にとらえ方の違いがあるのではないか。
- 現在定期的に行われている防災授業を今後も続けていただきたい。
- 地域と共に行う訓練では、参加したくなる内容を検討しよう。
- 防災について学ぶ機会を保護者にも作り、家庭でも防災について話し合ってもらえるようにしたい。



パワーアップアクションプラン 改訂

三鷹中央学園の児童生徒・教職員・保護者・地域の皆さまには、度重なる熟議やアンケート調査などご協力いただき、ありがとうございました。おかげさまで2022年度中に改訂版の内容を固めることができました。本当にお待たせしました！

写真は、今年1月に各校の代表委員会の子供たちが参加した熟議の様子です。

子供たちならではの視点から前向きな意見をたくさん出してくれました。

パワーアップアクションプランは、皆さまの意見を取り入れながら今後もバージョンアップを重ねていく方針です。また、呼びやすい“愛称”や“キャラクター”について児童生徒に募集を行い、決める予定です。デザインについても、より見やすく魅力的なものへの改良を考えてまいります。